



あたごふれあい人権文化センターだより

2025年8月1日発行

発行 : あたごふれあい人権文化センター
住所 : 〒682-0846
鳥取県倉吉市鴨河内 1818-2
電話 : 0858-28-5440 (FAX 兼)
E-Mail : atago@ncn-k.net

あたごふれあい人権文化センターだより「心ゆたかに」
に関するご意見・ご要望をお寄せください。

部落解放研究第53回倉吉市集会

私たちは、地域・社会・国内・世界のあらゆる場面に人権課題が存在していることに気付き、あらゆる世代が今日の人権問題を正しく理解し、自らの問題と捉え行動する視点に立った学習の場が今こそ求められています。

本集会は、誰もが安心して暮らしていくことができるまちづくり、一人も取り残さないまちづくりを進めるため、参加者一人ひとりが自分達の思いと言葉で学習と実践を深め合う「市民集会」として開催します。

多くの市民の皆様方のご参加をよろしくお願いします。

■日 時 2025(令和7)年8月24日(日)午前10時から午後3時(受付開始午前9時30分～)

9:30 10:00 10:30 12:00 13:00 15:00

受付	全 体 会		休 憩	分 科 会
	開会行事	講演会		

■会 場 エースパック未来中心、倉吉交流プラザ

■研究主題 共生社会の実現と人権尊重のまちづくりをめざして

～市民一人ひとりがつくる安心社会、人と人とのつながりを認め合い、支え合うことを考える～

■講 演 会

演 題 : 「いじめって何ですか？」～いじめに対する大人の認識を考える～

講 師 : 小森 美登里さん(NPO法人 ジェントルハートプロジェクト 理事)

■分 科 会

分科会	分 野	会 場
1	外国にルーツを持つ人の人権	エースパック未来中心 小ホール
2	子どもの人権	エースパック未来中心 セミナールーム3
3	同和問題	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
4	障がいのある人の人権	倉吉交流プラザ 第1研修室
5	L G B T Qの人権	エースパック未来中心 セミナールーム1

■問い合わせ先 部落解放研究第53回倉吉市集会実行委員会事務局(倉吉市人権政策課内)

倉吉市堺町2丁目253-1 Tel:22-8130/Fax:22-8230

E-mail : jinkenseisaku@city.kurayoshi.lg.jp



※詳細につきましては、チラシ、倉吉市公式ウェブサイト(人権政策課)をご覧ください。

差別落書きは重大な人権侵害です！

※差別発言に遭遇した場合や差別落書きを発見した場合、また悩みごと、生活に困っていることなど、人権政策課または最寄りの人権文化センターへご相談ください。

人権政策課

TEL 0858-22-8130

あたごふれあい人権文化センター

TEL 0858-28-5440



戦後80年 今あらためて考える

～これからも続けていきたい 戦いのない暮らし～

今年は1926(昭和元)年から数えると100年目、そして戦後80年。この間、いろいろな人権にかかわる出来事が起きています。

80年前、日本は戦争の真っただ中でした。広島、長崎への原爆投下。そして、沖縄の民間人を巻き込んだ地上の戦い。1931(昭和6)年の満州事変から始まった戦いは、第二次世界大戦が終わる1945(昭和20)年8月まで、14年もの長い間、多くの尊い命が奪われました。

また、2022(令和4)年2月に勃発したロシアによるウクライナ侵攻開始から3年を経過し、双方の死者は12万人を超えています。戦争では、命だけでなく自由や平等、教育などをはじめ、基本的人権も保障されません。こうして考えると、戦争は「最大の人権侵害」です。

日本は戦後80年を迎え、戦争の苦しみや悲しみを伝える人たちも高齢化が進み、平和の大切さを伝えることが難しくなっています。8月15日を終戦の日と考えるだけでなく、これからも平和が続くために「二度と同じ過ちを繰り返してはいけない」と考える日にしたいものです。



◆1945(昭和20)年8月6日・8月9日 世界初の原子爆弾 広島・長崎に投下 [広島原爆]

1945年8月6日 午前8時15分、人類初の原子爆弾が広島に投下されました。

灼熱の火球を作り、600m上空で炸裂し、死者約14万人(その年の12月まで)と推定されます。

[長崎原爆]

1945年8月9日 午前11時2分、広島原爆投下から3日目、長崎にも原子爆弾が投下されました。

すさまじい風が街をおそい、爆心地は現在の平和公園上空で、一瞬のうちに約7万4千人の命が奪われ、長崎市の36%が全焼または全半壊しました。

◆放射線の怖さ

原子爆弾の怖いところは、通常の爆弾では発生しない大量の放射線が放出されることです。放射線は体の奥まで入り込み、細胞や造血機能を破壊してしまいます。

1946年ごろからは熱傷の後にできるケロイド、1950年ごろからは白血病や悪性腫瘍の患者が増えました。戦後80年経った今でも原爆の後遺症と闘っている人もいます。

核兵器のない社会をめざしましょう。

鳥取県事業 隔離の歴史 現地訪問で 正しく理解を

日時：10月18日(土) 7:45～20:30 参加費無料(定員：24名)

場所：国立ハンセン病療養所「長島愛生園」(岡山県瀬戸内市邑久町虫明 6539)

日程：7:45 中部総合事務所出発(途中昼休憩あり)※昼食は自己負担

12:30 長島愛生園到着(歴史館・歴史回廊見学、納骨堂お参り、学芸員継承講話)

17:00 長島愛生園出発

20:30 中部総合事務所到着・解散(予定)

※上小鴨地区人権教育推進部・あたごふれあい人権文化センター共催の現地研修会として長島愛生園を訪問します。

参加希望の方は9月18日までに上小鴨コミュニティセンター(Tel 28-0953)、または あたごふれあい人権文化センター(Tel 28-5440)までご連絡ください。訪問経験のない方が優先となります。

8月のあたごふれあいサロン

日時：8月22日(金) 13:30～

場所：あたごふれあい人権文化センター

内容：「介護予防教室」フレイルについてのお話と体操

講師：三朝温泉病院 理学療法士

※サロン終了後に、ティータイムを予定しています。(お茶代100円)

(今後の介護予防教室の予定)

○9月26日(金) 13:30～ 口の健康について

○3月19日(木) 13:30～ 体力測定と理学療法士による運動指導

